

学校だより



くるだ

令和4年4月7日 第1号

富士宮市立黒田小学校

富士宮市星山 1030-2

電話 0544-26-2670

学校教育目標

重点目標

えがお
いい笑顔

やさしくする

かがや ひどみ
輝く瞳

伝える

ひか あせ
光る汗

振り返る

子供はかけがえのない存在であり、常によりよく伸びようとしている

校長 米津 英郎



左の写真は、令和4年4月5日(火)8時00分に本校の校庭から撮影した富士山の写真です。静寂の中、晴れ渡る青空(青)、雪化粧した富士山(白)、満開の桜(ピンク)がとてもきれいだなと思いました。

このような恵まれた環境下で、始業式及び入学式を開催することができ、とてもうれしく思います。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。新1年生92名を迎え、全校578名で令和4年度の教育活動がスタートしました。

私は、東小学校から黒田小学校に異動してきました米津英郎(よねづひでお)と申します。「**子供はかけがえのない存在であり、常によりよく伸びようとしている**」という理念を根底にして、教育活動に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

前述しました「**常によりよく伸びようとしている**」と述べると、子供の捉えがあまいのではないかと、というご指摘をいただくことがあります。

確かに、学習にあまり集中していない子供がいることも事実です。でも、その子供をよく観察してみると、他の「ひと・もの・こと」に注意を向けています。たまたま、授業者や大人が意図していることとは異なっているだけなのです。

子供は、自分では意識していなくても常によりよく伸びようとしています。適切な教育的環境に置かれた子供たちが、大人顔負けの深く鋭く、また息の長い学びに集中して取り組む姿を私は何回も見てきました。

臨床心理学者の河合隼雄氏が、著書『子どもと学校』(岩波新書 平成4年発行)の中で次のように述べています。

「私は、子どもを育てる、というときに『植物』をイメージする。太陽と熱と土があれば植物はゆっくりと成長してゆく。子どもを『機械』のように考えて、『こうすればこうなる』と、教師がそれをコントロールしようとする、思いのままにならないことが出てきていやになるのではなかろうか。植物の成長を楽しんで見るような態度を身に付けると、楽しみが増えてくるように思われる。」

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、子供の成長を育んできたいと思います。一年間、よろしくお願いいたします。